

宝達山

宝達志水町立宝達小学校

目指す児童像

- ☆よく考える子
- ☆思いやりのある子
- ☆たくましくやりぬく子



令和5年2月3日(金)
文責 校長 村田 浩彦

☆☆☆今年度の各種学力調査の結果について☆☆☆☆

令和4年度の各種学力調査の結果及び分析についてお知らせいたします。

1. 全国学力・学習状況調査(6年)、石川県基礎学力調査(6・4年)、石川県評価問題(5年)

6年	全国・国語	全国・算数	全国・理科	石川県・社会
県平均と比較	↑	↑	↑	↑
全国平均と比較	↑	↑	↑	
4年	石川県・国語	石川県・算数		
県平均と比較	→	→	↑	+10p以上
5年	石川県・国語	石川県・算数		
県平均と比較	↑	→	↑	+5p~+10p
			→	-5p~+5p

学校全体で取り組みます!

2. 授業等における指導改善のポイント

(1) 全国学力・学習状況調査、石川県基礎学力調査の分析から

国語	<ul style="list-style-type: none"> 原稿用紙の使い方、主述、助詞、指示語、接続語を、日常的に指導。 意味の伝わる文になっているか、形式だけではなく内容にも目を向けさせる。(推敲)→ICTの活用:修正前の文や構成を残し、コピーして修正させる。変更を価値付ける。 物語文での心情の読み取り(会話、色、情景描写等)
算数	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本(計算力やきまり等) 式や言葉を用いて順序立てて説明する力(自分の考えだけでなく人の考え方を説明させる時間も)
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料を見る視点の指導(全体を見る、部分を見る) 「資料をもとに～」といわれたら、資料の表題、数値等を必ず使う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 予想→実験→考察のサイクルで、実感を伴った理解を大切にしていく。
全教科	<ul style="list-style-type: none"> 「線を引く」「図にかく」ことを指導。実物投影機の活用。 ドリルタイム授業で学力向上プログラム等の活用問題に取り組みさせる。 教科と日常生活と結び付けて指導する。実感が伴うように。 最後までやり抜く気持ちをもたせる。 ドリルやテスト等の直しは、間違えた回答を消さずに赤で横に書かせる。

(2) 石川県評価問題の分析から

① 5年生が取り組むこと

- 評価問題の解説と直し 1月中 ドリルタイム
- 上記の表の改善に向け、家庭学習・ドリルタイム・授業での適用問題等で実施する
- 再度評価問題に取り組むことで、検証を図る(3月初めまでに)

② 全学年で取り組むこと

国語	<ul style="list-style-type: none"> ○長文を読むことに慣れる。(読書や音読の機会を意識的に増やす) ○条件を意識して書く。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本の知識・技能の確実な定着を図る。 ○時間を区切って問題を解く。(活用問題)
全般	<ul style="list-style-type: none"> ○文の中からキーワードやキーセンテンスに線を引いたり囲みを入れたりすることで、読み解く範囲を絞るようになる。 ○条件に沿った文章を書くことができるようになる。(まとめやふり返りで条件を示す。)

<お願い> 新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力願います。引き続き、お子様の登校前の検温および体温入力をお願いいたします。(インフルエンザやノロウイルス等にも注意してください。)